



2015

12

Bulletin

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2015 - 16 会長主題

一人ひとりが賜物。もっと発酵、もっと発信！

あずさ部長	標 克明 (甲府)	「ワイズメンとして一歩前進」
東日本区理事	渡辺 隆 (甲府)	「原点に立って、未来へステップ」
アジア地域会長	Edward K. W. Ong (シンガポール)	“Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
国際会長	Wichian Boonmapajorn (タイ)	“Mission with Faith” 「信念のあるミッション」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上妻英夫 / 書記 鈴木田通夫 / 会計 尾内昌吉・金本伸二郎
直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 沖 利柯

2015年12月 <EMC/MCの月>

<山手センター会員クリスマス>
12月6日(日) 18:00~ 山手センター101室

<拡大ヨルダン会>
12月15日(火) 18:30~
山手センター 101室
特別会費: 2,000円

受付	尾内さん、功能さん
司会	上妻さん
開会点鐘	会長
モットー・ワイズソング	一同
聖句朗読・祈祷	尾内さん
ゲスト・ビジター紹介	会長
会食・懇談	一同
ハッピーバースデー	
ニコニコ	一同
諸報告	担当主事、会長
閉会点鐘	会長

当番[第1班] 功能、上妻、尾内、飯島(愛)

12月 HAPPY BIRTHDAY

会費の納入は、会計(尾内君)への納入または
下記銀行口座への振込みをお願いします。
三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

ワイズメンズクラブ モットー

『強い義務感をもとう
義務はすべての権利に伴う』
“To acknowledge the duty
that accompanies every right”

今月の聖句

いかに美しいことか 山々を行き巡り、良い知らせを伝える者の足は。彼は平和を告げ、恵みの良い知らせを伝え 救いを告げ あなたの神は王となられた、とシオンに向かって呼ばれる。

イザヤ書 52章 7節

11月報告(3クラブ合同例会)

会員在籍数		18名
例会出席者	メン	15名
	メネット	1名
ゲスト・ビジター		27名
会員出席率		83%
ニコニコ	一円(累計)	30,784円
BF切手	—kg	外国切手—kg



山手センター3 クラブ合同例会
東京山手・東京サンライズ・東京たんぼぼ
報告

日時：11月17日(火) 18時30分～20時30分

場所：山手センター101号室

出席者(敬称略)：

山手：浅羽、上妻、飯島(隆)、飯野、尾内(昌)、
尾内(規)、沖、金本、功能、鈴木田(通)、
鈴木田(祐)、田尻、戸坂、中村、増野

15名

サンライズ：大谷、菰渚、岡田、小山(憲)、
小山(久)、柴田、島田、立田、長津、
御園生、

10名

たんぼぼ：服部、藤江、小原、中澤、越智、望月

6名

ゲスト・ビジター：

標 克明 あずさ部長(甲府)

高橋三雄(サックス演奏者)

遠藤昭浩(ギター演奏者)

九島伸一(浅羽友人)

九島恵子()

小倉恵一 あずさ部会計(甲府)

大野貞次(西)、

吉田明弘(西)

小口多津子(八王子)

関 喜一郎(たんぼぼゲスト、元 所沢)

川本龍資(名古屋)

11名

メネット：

浅羽 恵

1名

合計 43名

第1部合同例会は、司会が小山久恵さん(サンライズ)、浅羽山手会長の点鐘で開会しました。

この合同例会には部長主題に「一歩前進」を掲げておられる標部長が第1回目の公式訪問で出席され、標部長のご挨拶をいただきました。10月の第1回評議会の感動について述べられた後、2月の評議会はホストの松本クラブがお楽しみを用意することを話されました。また、松本クラブの第17回アジア賞授賞式(12月13日)があること、甲府21クラブでは12月に1名入会すること、来年6月の長野での東日本区大会をホストする長野クラブでは長野市を訪問して大会のPR、協力を要請することなど、各クラブの活動の一端のお話があり、各クラブは地域奉仕のため1クラブ1事業の実行を、と強調されました。東日本区役員会についても報告がありました。

沖山手センター館長からはバザーの収益が65万円(昨年54万円)と好調であったこと、山手学舎が9月に中国からの留学生が入舎して定員15人、満室になったこと、YMCAの会員増強で山手センターは30人を目標にしていることが報告されました。

第2部ジャズと交わりの夕べは、小原史奈子さん(たんぼぼ)の司会で始まりました。

ジャズ演奏の高橋さん(サックス&クラリネット)と遠藤さん(ギター)は浅羽さんと同じ「銅羅」の仲間であらうそうです。「ジャズはしかつめらしくては駄目です」という高橋さんのご挨拶があつて一同の緊張がほぐれたところで、演奏が始まりました。

2曲目は日本の歌「里の秋」(静かな 静かな 里の秋)、ジャズ調の里の秋を楽しみました。



3曲目は映画「カサブランカ」からの曲“As Time Goes By”、そして4曲目は“Back home again in Indiana ”で浅羽さんのピアノが特別出演し、拍手をうけました。

5曲演奏が終わったところでワイズディナーと懇親のひと時になりました。この間に田尻さんから「YMCA のイメージ」オンライン調査の調査協力のお願いと、小口さん（八王子）から在京ワイズ新年会のアピール、サンライズの島田さん（YMCA 同盟総主事）から東山荘募金のアピールがあり、大谷さん（サンライズ）から山中湖クリスマスのビンゴ賞品提供協力のお願ひ、たんぼぼクラブからリングファンドの協力願ひがそれぞれありました。

ハッピーバースデーはこの日17日が誕生日の沖さんはじめ中村さん、上妻さん、大谷さんに服部たんぼぼ会長からワイズファイルが贈られ、全員で祝いました。

ジャズ演奏の第2ステージは、“When I grow too old to dream”（夢見るころを過ぎて）で始まり、何曲目かに日本語で歌える「わたしの青空」（夕暮れに仰ぎ見る輝く青空）、をみんなで歌いました。そしてアンコールは浅羽さんのピアノも入ってアニーローリーのジャズ曲、そして再度浅羽さんのピアノも入って「A列車で行こう」がありました。

ニコニコの金額が21,836円になったことが藤江さん（たんぼぼ）から報告され、東日本大震災のための東京Yの募金に捧げられました。

閉会点鐘は大谷サンライズ会長、「楽しい会をありがとう。飲めない酒を飲みました。心の温まる会でした」と結びました。

その後、自由参加で「本音で語ろう会」が伊丹亭で開かれ、約20名が参加しました。

（まとめ・功能）

.....

11月ヨルダン会 報告

11月25日（火）13：30～

山手センター 102号室

出席：浅羽、飯野、尾内、沖、功能、鈴木田、中村、増野 8名

1、山手センタークリスマス会

12月6日（日）18時から、

参加予定者：飯野、尾内、金本、鈴木田、鈴木田（祐）、田尻、増野、沖、浅羽

2、拡大ヨルダン会

12月15日（火）18：30～

会費：2,000円

みんなで楽しむ会にしたい。

3、山手クラブの1～6月例会プログラム(案)

1月 世田谷クラブの寺門文雄メンに中国についての卓話を依頼する。

2月 山手学舎退舎生を送る会
記念品に名入りボールペンを用意
TOFは3月に延期

3月 難民をテーマにし、TOFを実施

4月 YMCA 同盟の島田茂総主事に卓話を依頼する。

5月 松浦幸子さん（増野さん友人、社会活動家、料理店経営等）の卓話を聞く。

6月 年度の締めくくり

4、次年度山手クラブ体制

次年度は、あずさ部部長を浅羽さん、同会計を尾内さんが引き受けるのに伴い、山手会長を金本伸二郎さん、同会計を中村孝誠さんをお願いする。書記は未定、その他の職務はおおむね今年度の体制を維持していく方向。

5、会計報告 常総市水害復興支援募金のための寄付1万円を、日本YMCA同盟に送金した。（尾内）

6、在京ワイズ新年会：1月9日（土）12：30～ 会場・桜美林大学 多摩アカデミーヒルズ 山手から浅羽、飯野、尾内、尾内（規）、中村、増野が出席予定。



おたより (11月)

<上妻英夫さん> 「冷たい雨 立冬聞いて暦見る」早いもの立冬過ぎたと聞いて暦を開いて見たら20日前である。もう暦の上では冬です。今日も冷たい雨が地面を濡らしていました。

<飯野毅与志さん> 合同例会楽しみにしています。これを機会に一つ一つのクラブが良いクラブとして発展しますように願っています。合同例会が良い会になるように祈っています。

<鈴木田通夫さん・祐子さん> ○旧諏訪町の本多誠会長のお話、とても考えさせるお話でした。本多会長のように意識が高く面倒見のよい方がいる町内に住む住民は幸せですネ。

○11月の3クラブ合同例会、大勢での例会は嬉しい。その中で生のジャズが聴けるのはなんと贅沢なこと。ありがとうございました。

<浅羽俊一郎さん> サンライズとたんぼほととの3クラブ合同例会、皆さまのご協力でとても楽しいひとときになりました。

12月中旬私は日中韓 YMCA のピースフォーラムで南京に行ってきます。言葉や国籍の違いを越えた同じ YMCA という繋がりが出来ることを願っています。ところで今年を象徴する漢字は何でしょうか。

YMCAニュース

▼山手会員クリスマス

山手センターにご参加いただいている会員、リーダー、スタッフなどを中心としたクリスマス会を12月6日(日)18時より開催します。第一部はクリスマス礼拝、第二部は祝会となっております。会費は1,000円で、何か赤いものを身につけてお越しください。沢山の皆様のご参加をお待ちしています。ご参加いただける場合は、山手コミュにセンターまでお知らせください。

▼「伝える」を「伝える」に

～日本 YMCA ブランディングが始まります！～
私たち東京 YMCA を含めた全国の YMCA で「ブランディング」への取り組みが始まります。
YMCA の事業が様々な領域に広がり、またかつてと違って同じ領域に様々な競合事業がひしめく中で、果たしてどれだけの人がとに YMCA のことがちゃんと伝わっているのでしょうか。「伝えてはいるけれども、伝わっていない」そんな課題を打開しようと、日本の全 YMCA で取り組むのがブランデ

ィングという手法です。

ブランディングによって、私たちは「多くの人に真実の姿が伝わる」、「必要としている人たちに存在を知らせる」、「関わる人がより誇りと愛着を持つ」、「より多くの人に選ばれる」YMCA に生まれ変わることを目指します。

■10000 人オンラインアンケートのお願い
まず、広く内外調査を進めます。本オンライン調査もその一環です。10分程度でできる WEB 上のアンケートです。以下の URL からアンケート画面に進めます。12月14日までにご協力お願いします！
<http://y.imgc.jp/> ID : ymca PW : image
を入力してください。 (沖 利柯)

**<私の福島・フクシマ No.5>
ホットスポット**

功能文夫

私の住む我孫子市は千葉県北西部に位置し、利根川の対岸は茨城県取手市になる。冬になると大空の下に筑波山がくっきりと見える。

福島第一原発事故の後、我孫子は柏、流山と共に放射線量が高いいわゆるホットスポットとなった。そこで、市では子供たちの生活圏を守るため、幼稚園、保育園、小、中学校や公園の放射線量を測定し、除染に努めている。公園の前には除染後の数値がその測定地点と共に掲示されている。また、草・落ち葉を可燃ごみで出すと焼却灰の放射線量が高くなるので、可燃ごみで出すことは禁止され、月2回、剪定枝木を出す日に出すことになっている。

第一原発から遥か190キロも離れたところに住んでいて小さなことであるがこういうことを経験しているが、福島の方がたが受けている原発事故による物的・精神的被害がどんなに大きいのか、未だ一度も被災地を訪ねたことのない私にはとても想像もつかない。増野さんも沖さんも書かれたように子供たちを守ることが大切だ。太平洋戦争末期に、空襲の被害の拡大を抑えるため建物の強制疎開や子供たちの集団疎開が実施されたことが思い出されるが、原発事故からの避難はそれとはまったく違い、これまで経験したことのない放射性物質の恐怖との戦いである。テレビは原発事故の汚染ゴミが増えてその仮置き場が満杯になっている状況も伝えている。

年が明ければ、あの3.11から満5年になるが、原発事故との戦いはまだまだ未解決である。